

経営比較分析表（令和3年度決算）

兵庫県香美町 公立香住病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	透訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
16,452	7,715	第1種該当	-	10：1

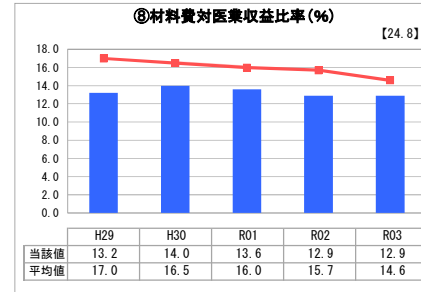
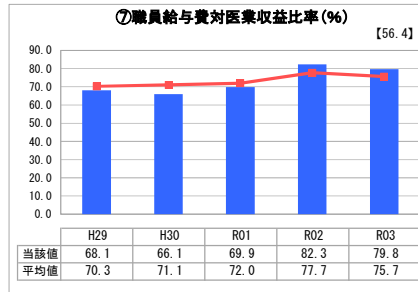
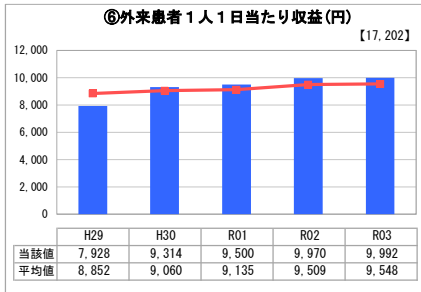
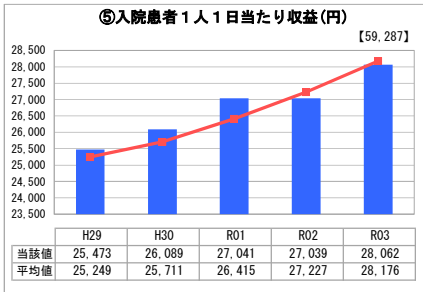
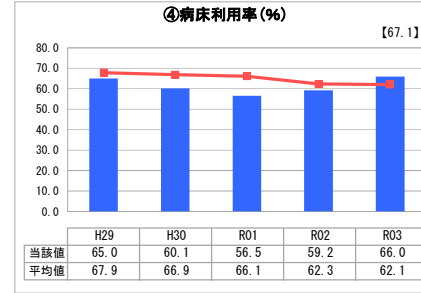
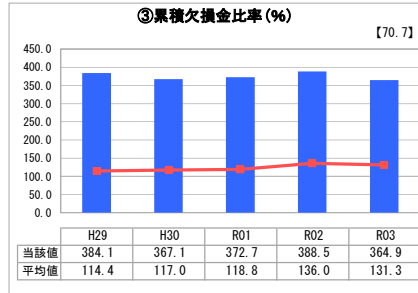
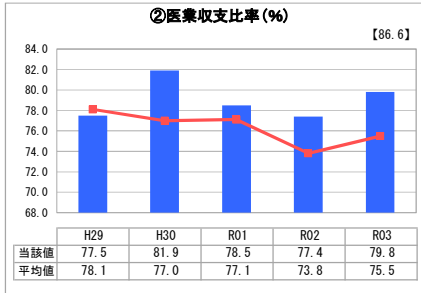
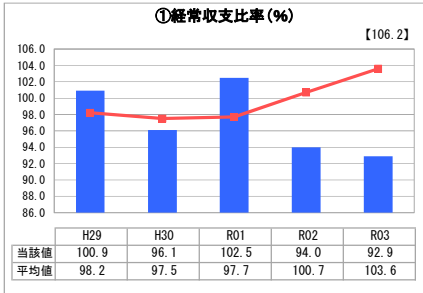
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

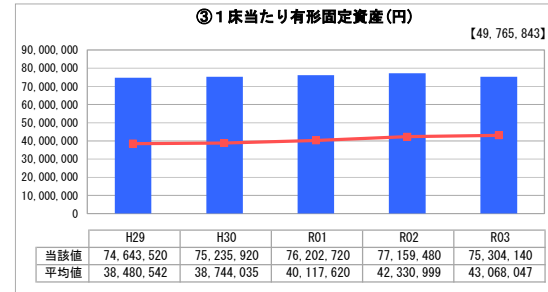
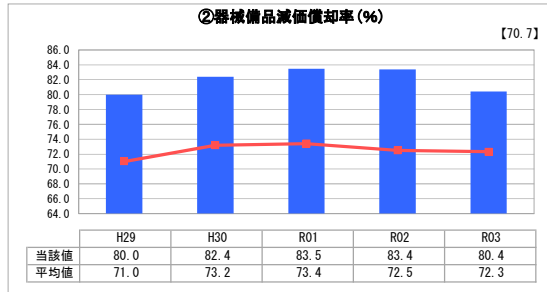
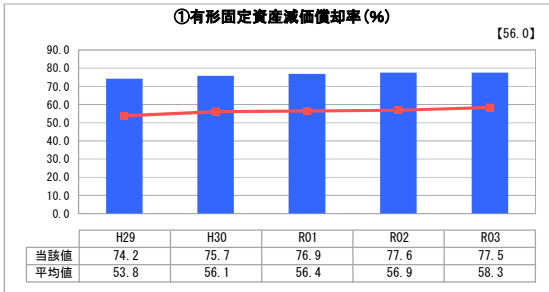
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
45	-	45

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

香美町全体が過疎地域に指定されており、山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供を担っている。

また、高齢化が進み、在宅復帰が困難な患者が増えることが予想されるため、在宅に向け十分なリハビリを実施することや介護老人保健施設、訪問看護等の在宅医療提供体制の充実を図ること、地域包括ケアシステムを支える役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は、5月から精神科、10月から胃腸科を開設したこと等により、入院・外来ともに患者数が増となった。入院患者数は前年度より1,254人の増となり、病床利用率が増となった。収入も入院収益・外来収益ともに増となり、医業収支比率は昨年度を上回った。また支出では職員給与費対医業収益比率は減となった。

また、令和3年度は資金不足が見込まれなかったため前年度より繰出金を減らした結果、経常収支比率は類似病院の平均値を下回った。

2. 老朽化の状況について

平成3年に建設した病院本館は、すでに30年が経過しており老朽化が著しくなってきたため、令和3年度から一部改築を進めている。建物と共に整備した医療機器、器具備品等も同様に次々と更新時期を迎えている。

有形固定資産及び機械備品の減価償却率はともに平均値を上回っているため、計画的な老朽化対策が必要となっている。

また、1床当たり有形固定資産は平均値の2倍近くとなっているが、これは病院本館の建設時から比べて病床数を半分に減らしたことによるものである。

全体総括

医療活動における経営状況を判断する医業収支比率や、外来患者1人1日当たり収益などは、前年度（令和3年度）と比較して改善したことで、類似病院平均値を上回った。

しかし、当院は類似区分の50床以上100床未満の中でも50床と最小の規模であるが、累積欠損金比率は全国及び類似病院平均から大きく離れている。入院患者の増により病床利用率は類似病院の平均を上回ったものの、決して経営状況が良いとは言えない。

このため、新たに策定予定の公立香住病院経営強化プランに基づき、今後も更に経費削減、增收対策等の経営改善を行い、住民により良い医療サービスの提供に努める。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。